

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

| | |
|-----|----|
| 野里小 | 学校 |
|-----|----|

| | |
|-----|----|
| 児童数 | 40 |
|-----|----|

平均値

| 5年生 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20m シャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ソフトボール 投げ | 体力合計点 |
|-----|-------|-------|-------|-------|---------------|-------|--------|--------------|-------|
| 男子 | 14.57 | 15.50 | 38.35 | 42.29 | 34.05 | 10.01 | 139.19 | 19.62 | 49.16 |
| 大阪市 | 15.70 | 19.17 | 33.01 | 38.63 | 45.42 | 9.52 | 148.43 | 20.76 | 51.54 |
| 全国 | 15.96 | 19.46 | 33.88 | 40.89 | 47.94 | 9.46 | 150.93 | 21.06 | 53.02 |
| 女子 | 14.27 | 17.31 | 41.24 | 40.38 | 32.47 | 9.99 | 138.63 | 11.65 | 53.33 |
| 大阪市 | 15.40 | 18.33 | 37.58 | 36.86 | 35.15 | 9.83 | 139.41 | 12.67 | 52.58 |
| 全国 | 15.61 | 18.36 | 38.15 | 38.70 | 36.85 | 9.77 | 142.34 | 13.11 | 53.97 |

結果の概要

校舎改修の影響が残り、児童の基礎的な体力が低いことが課題である。本校の児童は、男女ともに体力・運動能力が全国平均を下回っている。特に令和6年度に引き続き、ソフトボール投げの記録が男女ともに低くなっており、改善していく必要がある。

しかし、「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問に対して、最も肯定的な回答をした割合は男が76.2%、女子が70.6%と、全国平均よりも高い結果となっている。（全国：男子=72.7%、女子=54.1%）

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が21.1%、女子は11.8%となっており、男子の運動時間の短さが顕著に表れている。（全国：男子=9.8%、女子=17.3%）

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

昨年度の男子の体力合計点が、54.13、女子が55.67となっていたが、今年度は男女ともに体力合計点が下がってしまう結果となった。

ストラックアウトの設置や、休み時間の体育館の開放をしていたが、日頃の運動時間の短さが結果として体力合計点の低下につながったと考えられる。

今後は、放課後や休日の外遊びの大切さを家庭へ啓発し、生涯スポーツへつながるように運動習慣の確立を目指していく。そのために、縄跳び週間やマラソン習慣などの体力強調週間の取り組みや、体育で習ったことを外遊びにつなげられるような工夫を念頭に入れ、子どもたちの指導に当たる。